

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立美原西中学校
校長 小原 聡

中学校区におけるめざす子ども像 【強みを見つけてコツコツと、楽しく学び、自ら学ぶ子ども】 【学ぶことの楽しさを知り、自ら探求する子ども】

令和8年度 重点目標 □[強みを見つけてコツコツと、楽しく学び、自ら学ぶ西中生]自らを律し、自ら学び続ける子 【時を守り、場を清め、礼を正す】社会の基本的な行動を意識し、静謐な教育環境をつくる。
 ◇自慢は優しさと厳しさ:[生徒]「他人に優しく自分に厳しく」「優厳実行」・[教員]「個に優しく、全体で厳しく」「時には優しく、時には厳しく」
 ◇「change&challenge」:[生徒]「柔軟性をもって物事を考え、自ら新しいことに積極的にチャレンジする」・[教員]「固定観念にとらわれず、積極的な挑戦し、生徒の挑戦をサポートする」・[生徒&先生]「ゴールの姿を共有し、最後までやり抜く力を出す」
 ◇student ファースト:判断に迷ったら生徒を第一に考える。生徒の将来を見据えて判断する。

<p>「確かな学び」の現状 学力が伸び悩んでいる現状や、「将来の夢を持つ」や「自分にいいところがある」といった要さ結果から、自己肯定感の低さがうかがえる。本校最大の課題は、人生の目標がイメージできていないことにより、学習に向かう意義や目的が明確になっていないことだと考えられる。このことが学習意欲の低さや、進路選択での消極性に表れてきている。 この課題を解消していくため、キャリア教育を推進し、「生きる力の醸成」を図っていく。生徒が、自分らしい生き方を考え社会や地域とのつながりの中で、自らの未来を切り開く力を育み、進路指導としてだけでなく、中長期的な視点でのキャリア教育を実施する。</p>	<p>「豊かな心・健やかな体」の現状 ・教育活動全体を通じて、多様性を認め合い、自らの人権を尊重されていることを実感できるような学校教育を推進してきたことで、「他人を思いやる心」についての肯定的な回答が多く見られた。 ・全国体力・運動能力・運動習慣調査で、全国平均を下回る結果となった。さらに、運動系部活動に参加している生徒の割合も全国平均を大幅に下回っている。この問題に対処するため、体育授業、食育、およびみんいく教育に新たな工夫を加え、生徒の心の充実と健やかな体の向上を目指す。</p>
---	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況 (年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学習システム	ICT を活用した生徒一人ひとりにあった教育の提供	●個別最適化された学びの場を提供し、生徒が学ぶスタイルを選択できるようにする。そのために、ICT 機器を自然と選択的に入れられるように普段の教育活動において使用機会を多く取り入れていく。	「学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使っていますか」の質問項目への肯定的な回答が70%を超える。	①学校アンケート ②授業の様子	①3学期 ②通年			
		単元で付ける力に向かって、見通しを持ち、子どもが考え・振り返る学びを創る。	●「単元で付ける力に向かって見通しを持つこと」をテーマに、実践共有・討議を重ねる。 ●西中教職員がチームとして授業改善に取り組み、実践を共有する。	各学期に行う校内研修での討議内容。 授業参観及び研究授業において研修テーマに基づいた授業を実践し、共有する。	実践共有 実践共有	通年 通年			
		キャリア教育を推進することで、生徒に学習に向かう意義や目的を明確に意識させ、学習に対する意欲を向上させる。	●キャリア教育推進校として、地域や企業に積極的に働きかけ、西中スタンダードとしてのキャリア教育を確立し、全学的に発信する。 ★小学校でのキャリア教育と連携できるよう情報交換を行う。	各学年の状況に応じたキャリア教育が実施できているか。 小中連携の活動日において情報交換を行う。	実践共有 実践共有	通年 通年			
		「優しさや厳しさ」の中での信頼関係づくり。(優厳実行)	●「優厳実行」を意識し、「かかわり貯金」の中で生徒の「強み」を見つけ、活躍の場をプロデュースする。	「良いところがある」「得意なことをしている」「学校が楽しい」と肯定的に回答する割合が75%を超える。	IRT 調査等	3学期			
豊かな心・健やかな体	心システム	人権尊重の精神を育てる。	●すべての行動、言動において人権意識・道徳意識をもって取り組む。	「友達を傷つけないようにする」「道徳の授業は大切だとおもう」と肯定的に回答する割合が75%を超える。	学校教育自己診断 IRT 調査等	3学期			
		えがおあふれる学びの場づくり	●★いじめアンケート結果をその都度いじめ防止対策委員会』で共有し、防止と対策をする。	「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」の問いに肯定的な回答が100%になる。	全国学力・学習調査等	3学期			
		学びに向かう意欲と計画性を兼ね備えた生徒の育成	・現状を知ること、向かうべき場所(なりたい姿)を想像させる。 ●★自身の現状を正しく知り、次の課題を設定できる。	・「総合的な学習で自分の興味・関心から学習内容を自分でできているか」と肯定的な回答が70%を超える。 ・「以前の自分よりも「学習」に前向きに取り組んでいるか」における肯定的な回答が70%を超える。	学校アンケート IRT 調査等 見取り	3学期 3学期 通年			
		時を守り、場を清め、礼を正す	●★授業前着席の習慣化 ・そうじ・整理整頓ができている静謐な環境作り。 ・返事・挨拶・感謝の気持ちの発声の促進。	「時間を守り着がができて」「そうじをしっかりとできている」「基本的なマナーが身につけている」と肯定的な回答が75%を超える。	IRT 調査等 見取り	3学期 通年			
地域協働	信頼システム	見える学校から見える学校へ	●教育活動などの学校情報を通信やHP・Tetoru 等で情報提供を行う。→「見せる」 ・PTAの役員・委員・西中応援会と連携しながら各行事・地域活動を行う。	・学校から届く情報は、学校の様子を知らせるのに役に立っている」と肯定的に回答する割合が75%を超える。	学校教育自己診断	3学期			